

企業名： 月島機械

レポート名： 月島機械グループ統合報告書

1. この会社が目指す姿が理解できるか

理解できる。統合報告書の一番初めにある企業理念とトップメッセージに明示されている。また、多くのページに省エネルギーから創エネルギーへのシフトについて示されており、目標としていることが分かりやすかった。環境技術という専門的な内容を多く含んでいるため、図を用いた説明が多く、理解の助けとなった。小学校の頃に見学に行った工場のパンフレットのような印象を受けた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

理解できる。特に、私たちの生活に必要な水環境事業において競争優位性を感じた。また、個人的には、グローバルでの事業展開のページにあった他国の水環境問題についての例をみて、日本での月島機械グループの競争優位性を強くイメージできた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。戦略投資、DX を推進していること、研究開発への取り組みから理解ができた。また持続性というワードで多くの人がイメージする SDGs のマークを各所で使用しているため、持続性において強い意識を持っていることが容易にイメージできるようになっている。その点からも将来性へのアピールが十分にできていると感じた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

分からない。企業の事業についての説明は多く、非常に分かりやすかったが人的資本についてのページはそれらと比較して、量的に少ないように感じた。仮に私が就活生だとして、この統合報告書を参考にしていたら、他社との違いが分からず判断の材料としては機能しないと思う。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

人的資本への投資についてももう少しボリュームアップしても良いと思う。トップメッセージから人材に対しても持続性を重視していることは窺えるため、人的資本への投資についてのページも事業と同じくらいの熱量で作成することで、企業イメージはさらに良くなるのではないだろうか。また、人材についての報告は他社との差別化が非常に難しいと思うが、就活生の立場で魅力を感じるような具体的なケースを掲載することが最も容易に差別化が図れる方法だと感じる。

